

世界法年報

第22号

2003年1月

ごあいさつ

世界法学会理事長 藤田 久一

論 説

統一テーマ「国際法学の方法」

国際法学における実証主義の史的系譜

18世紀における「実証主義的」著作の検討を中心として一

慶応義塾大学助教授 明石 欽司

条約解釈の神話と現実

解釈学説の終焉が意味するもの一

関西大学教授 坂元 茂樹

過程としての国際法

- 実証主義国際法論における法の変化と時間の制御

東京大学教授 奥脇 直也

国際関係論の成立と国際法学

日本近代史研究からの一考察

東京大学教授 酒井 哲哉

批判法学の国際法ディスコース

現代国際法の「近代性」への挑戦とその意義

神戸大学教授 酒井 啓亘

国際法とジェンダー

国際法におけるフェミニズム・アプローチの問題提起とその射程

青山学院大学助教授 申 恵手

活動報告

世界法学会会報

世界法学会